

計画の名称	国境の島対馬を保全するため、空港・港湾を拠点とする広域的なアクセス向上を図る道づくり											
計画の期間	平成30年度 ~ 令和04年度 (5年間)										重点配分対象の該当	
交付対象	対馬市											
計画の目標	離島空港・港湾を拠点に広域的なアクセス強化を図ることで、集落の災害などにおける緊急輸送時の安全確保を促進するとともに、島外からの交流人口拡大を支援し、地域生活環境の改善並びに地域経済の底上げに繋げ、更には、国境の島である地域の保全に努める。											
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	8,524	A	8,524	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0 %

番号	計画の成果目標(定量的指標)			
	定量的指標の定義及び算定式	定量的指標の現況値及び目標値		
		当初現況値 H30末	中間目標値 H32末	最終目標値 H34末
1	離島空港・港湾へアクセスする道路の整備を行い、発生する交通事故発生件数を現在の53件からH34までに50件以下にする。 評価時点の交通事故発生件数を調査し、全発生件数に占める割合を算出する。 (対馬市の交通事故発生件数減少率) = (評価時点の交通事故発生件数 - H30の交通事故発生件数) / (H30の交通事故発生件数) (%)	0%	2%	5%
2	対馬市を訪れる観光客数を現在の598,000人からH34までに628,000人にする。 対馬市の年間観光客数を調査する。 (対馬市の観光客増加率) = (評価時点の観光客数 - H30の観光客数) / (H30の観光客数) (%)	0%	2%	5%
3	集落から対馬病院への時間短縮を図る。 道路改良前と改良後の所要時間比を算出する。 (1 - (事業後所要時間 / 事業前所要時間)) × 100 (%)	0%	1%	3%

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-001	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1)久田日掛線 佐須工区	現道拡幅 L=1.9km	対馬市						322	-	
	A01-002	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1)仁田志多留線 伊奈・犬ヶ浦・越高工区	現道拡幅 L=2.33km	対馬市							551	-
	A01-003	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1)尾浦浅藻線 安施工区	バイパス L=2.3km	対馬市							3,473	-
	A01-004	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1)堂坂線 舟志工区	バイパス L=4.1km	対馬市							3,200	-
	A01-005	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(他)内山2号線 内山工区	バイパス L=1.3km	対馬市							312	-
	A01-006	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(他)鱈浦落土線 鱈浦工区	小規模改良 L=0.46km	対馬市							366	-

A 基幹事業

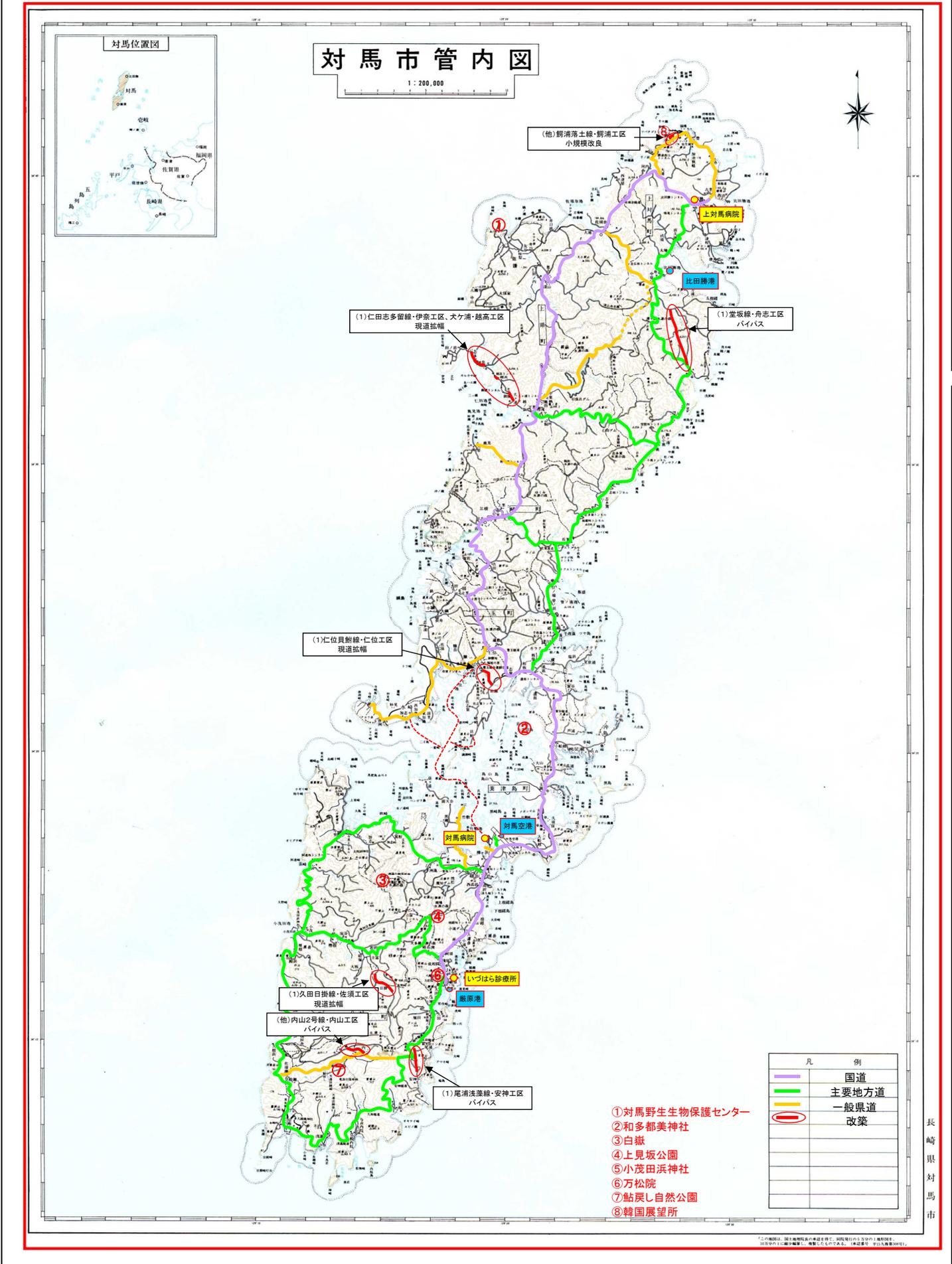
基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況
												H30	H31	R02	R03	R04			
一体的に実施することにより期待される効果																			
備考																			
道路事業	A01-007	道路	離島	対馬市	直接	対馬市	市町村道	改築	(1) 仁位貝鮎線 仁位工区	現道拡幅 L=1.35Km	対馬市						300	-	
											小計						8,524		
											合計						8,524		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	H30	H31	R02	R03	
配分額 (a)	323	201	300	249	
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0	0	
交付額 (c=a+b)	323	201	300	249	
前年度からの繰越額 (d)	145	196	135	180	
支払済額 (e)	272	262	255	264	
翌年度繰越額 (f)	196	135	180	165	
うち未契約繰越額(g)	3	89	28	84	
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0	0	
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	0.64	22.41	6.43	19.58	
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由		地元調整に不足の日数を要したため(補正予算を含む)		地元調整に不足の日数を要したため(補正予算を含む)	

計画の名称	国境の島対馬を保全するため、空港・港湾を拠点とする広域的なアクセス向上を図る道づくり		
計画の期間	平成30年度 ~ 令和4年度 (5年間)	交付対象	対馬市



事前評価チェックシート

計画の名称： 国境の島対馬を保全するため、空港・港湾を拠点とする広域的なアクセス向上を図る道づくり

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 基本方針・上位計画等との適合等	
I. 目標の妥当性 1) 基本方針と適合している。	○
I. 目標の妥当性 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 3) 緊急性の高い課題に取り組む内容となっている。	○
I. 目標の妥当性 4) 数値目標や指標を用いるなど、客観的かつ具体的な目標となっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等	
II. 計画の効果・効率性 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 3) 目標と事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 4) 指標・数値目標が住民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果	
II. 計画の効果・効率性 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境	
III. 計画の実現可能性 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○

